

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和08年09月16日

計画の名称	鹿児島県水道総合地震対策計画（防災・安全）（重点）														
計画の期間	令和07年度～令和11年度（5年間）												重点配分対象の該当	○	
交付対象	曽於市,西之表市,南九州市,伊佐市														
計画の目標	各事業者が策定する上下水道耐震化計画に基づき、システムの急所施設や避難所等の重要施設に接続する管路等の耐震化、災害時の代替性・多重性確保を図り、災害に強く持続可能な上下水道システムを構築する。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		3,503	A	3,503	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C /（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R7		R11
1	重要施設（防災拠点・避難所）に接続する管路の耐震適合率（％）（曽於市）			
	事業計画区域における重要施設（防災拠点・避難所）に接続する耐震適合性のある管路延長／管路総延長（曽於市）	0%	%	48%
2	配水池の耐震化率（％）（曽於市）			
	事業計画区域におけるレベル２地震動対応の配水池容量／総配水池容量（曽於市）	18%	%	63%
3	配水池の耐震化率（％）（西之表市）			
	事業計画区域におけるレベル２地震動対応の配水池容量／総配水池容量（西之表市）	20%	%	26%
4	重要施設（防災拠点・避難所）に接続する管路の耐震適合率（％）（南九州市）			
	事業計画区域における重要施設（防災拠点・避難所）に接続する耐震適合性のある管路延長／管路総延長（南九州市）	24%	%	32%
5	重要施設（防災拠点・避難所）に接続する管路の耐震適合率（％）（伊佐市）			
	事業計画区域における重要施設（防災拠点・避難所）に接続する耐震適合性のある管路延長／管路総延長（伊佐市）	20%	%	27%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	A07-001	水道	一般	曾於市	直接	曾於市	-	-	重要施設配水管	重要施設配水管の耐震化	曾於市	■	■	■	■	■	224		-
	A07-002	水道	一般	曾於市	直接	曾於市	-	-	配水池	配水池整備による災害時代替 性確保	曾於市	■	■	■	■	■	803		-
	A07-003	水道	離島	西之表市	直接	西之表市	-	-	配水池	配水池整備による災害時代替 性確保	西之表市	■	■	■	■	■	1,140	5.9	-
	A07-004	水道	一般	南九州市	直接	南九州市	-	-	基幹水道構造物の耐震化 事業	基幹水道構造物の耐震化	南九州市	■	■	■	■	■	85		-
	A07-005	水道	一般	南九州市	直接	南九州市	-	-	重要施設配水管	需要施設配水管の耐震化	南九州市	■	■	■	■	■	561		-
	A07-006	水道	一般	伊佐市	直接	伊佐市	-	-	導水管・送水管耐震化事 業	導水管・送水管耐震化事業	伊佐市	■	■	■	■	■	215		-
	A07-007	水道	一般	伊佐市	直接	伊佐市	-	-	重要施設配水管	重要施設配水管の耐震化	伊佐市	■	■	■	■	■	475		-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											小計						3,503		
											合計						3,503		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R07				
配分額 (a)	181				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	181				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	181				
うち未契約繰越額(g)	173				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	95.58				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	令和8年度の前倒し予算として、令和7年度補正予算を執行しているため				